

今年もブータンへ

A52AEF 東條 純一

A52IVU 北井 十生



まえがき

今年もまた「ブータン」へ行ってきました。4回目です。昨年はJD1行きと重なり残念しました。今回は東條さん(A52AEF)と2人のみ。無線の免許は、例年と同じく、また、6mを追加して日本の免許の英文証明書を用意し、現地の旅行社 Zhidey Bhutan T & T の青木さんを通して行い、取得することができました。私たちの場合は、まず、例年と同じく海拔3150mのドチュラ峠にある「ドチュラ・リゾート」にしました。

準備

この時期、当初はXT行きを計画していましたが先方のXT2HB Poodaさんとの日程の調整ができず、例年出かけているA5へ予定変更しました。そのため、航空券の取得に苦労しました。いつも利用しているKIX-BKKの深夜便が1月16日から17時25分発に変更(BKK-KIXの深夜便は残っています)され、さて困った。調べるとJALにKIX 00時55分発の深夜便があった。ところが出発日が4月28日の深夜で帰りがBKK 5/6発ではGWの真最中でとれず、タイ航空のHND-BKK BKK-KIXが取れた。ブータン行きのBKK-PBHのドルクエアに乗るためにはタイ航空がJALでないと荷物がBKKでスルーし

ない。BKKでの荷物の受け取りは時間と手間がかかるため避けたい。まだ、難関な課題がドルクエアのチケットが中々とれない。やっと4月25日の出発3日前にとれたとの連絡が入った。VISAは前にとれているのでやれやれ。

事前に昨年、A5へ持って行き強風で倒れたのでエレメントの修繕と倒壊対策をし、3.5と7、10のDPも大和川の河川敷でテストと調整を行いました。

今回も、荷物の重さとたたかいました。タイ国際航空は30k、ドルクエアがビジネスで40kでなんとか小さく、軽くしました。

というわけで今回もリニアアンプなしで、リグは東條さんがIC7300、北井がTS480HX、アンテナは14-28がHEX-6、3.5と7と10がDP、1.8がLWにしました。特にローバンドのリクエストがあったためアンテナを用意しました。

4月28日、車で東條さん宅へ行き、関空へ向かい予約していた駐車場へ(何日預けても6000円)。羽田経由のためLCCでKIX-HNDへ。関空の国内線は使うのは何年ぶりかと。

荷物は事前に羽田の国際線へ送る(KIX発着でないため

HNDまでの運賃と宅配便料がかかる)。

タイ国際航空のカウンターへ。2人分を次々乗せるとあらら超えている。心配しているとカウンター嬢「超えていますので差額を」と。差額を払い、荷物はバロまでスルーで行くので多分大丈夫???

予定の0時20分すぎ、無事に羽田を離陸したが気が付いたら台湾上空だった。到着1時間ほど前の朝の4時ころ朝食が・・・まだ眠い。

バンコック国際空港に到着し、乗り換え口へ、無事手続きを済ませドルクエアのゲート乗り場には日本人観光客が数人いた。6時50分、バンコック国際空港を離陸後、インドのコルカタに寄り、山と山の間を降下し、今回は雲が多く、心配したが山の尾根が窓のすぐそばに・・・パロ国際空港に無事着陸した。ターミナルビルが新築され、広がっていた。

ブータンに到着

タラップを降りて徒歩で出口へ、きれいな独特の建物。入国審査を受け、荷物を受け取り、税関へ。なぜかアンテナなどたくさん荷物を持っていたのか私たちは無事通過した。出迎え口には現地ガイドのウゲンさんがお迎えに来ていました。車に荷物を積み込み、まず、ティンブー



の旅行社の青木さん会社へ寄り、挨拶をして、宿泊地のドチュラ峠向け出発、いつものドチュラ峠は舗装され、広がっていた。おかげでかなりの時間短縮となった。「ドチュラ・エコ・リゾート」へ出発。峠のてっぺんには108の仏塔が建立されている。ここからの景色は絶景 遠く白いヒマラヤの山々が眺望できるはずであったがあいにく曇りで真っ白なにも見えない。高山病に注意しながら荷物を運ぶ。例年と同じように2階のテラスの北側にHEX-6を南側にDPと21のデルタループを設置することにした。昼飯前にHEX-6と7と10のDPを組み立てた。全バンドとも1.5程度。

運用開始

4月29日現地時間15時から7.076 JT65で運用を開始した。早速、JA.Euからパイルを受ける。

天気悪くヒマラヤの山々は全く見えない。夜は10.138 JT65で運用、Euからの猛パイル。

4月30日朝、朝日が差し込みヒマラヤの山々を拝んでいるとガスがかかり、また、真っ白に。朝食後、3.5のDPの上げたがVSWRが下がらず。また1.8のLWを上げたがこれも下がらず残念した。

無線三昧ではなく、今年は1泊2日で中部のトンサ、冬にオグロツルの冬飛来地のポブジカへ観光しようとドチュラから車で朝8時に出かけた。峠の500mほどを除いて「プナカ」まで舗装され、広くなり、快適になった。が「ワンデュ・ポタン」を過ぎると道は砂利道でほとんど1車線を拡幅工事と橋の架け替え工事中(日本とブータンとの共同事業)。ポブジカへはラワラ峠(3330m)を越えて、谷間に広がる草原へ オナガツルはロシアからヒマラヤを越えて冬に飛来するとのことでこの時期には1羽もいなかった。

谷間から盛り上がった丘の上に「ガンテ・コンバ」へ大きなお寺だ。ここで昼食 欧米人がたくさんいた。

その後、またペレラ峠(3360m)越え、道は谷に沿い、川に沿い、決してトンネルやつり橋などはない。車の速度は平均15km 町が向こう岸に見えていても谷を回り、川が狭くなるまで回り込むのでドチュラからトンサ



まで約170kmで約9時間かかる。夕方、ブータン中部の海拔2000mの「トンサ」に到着早速、町はずれの「ヤンキル・リゾート・ホテル」へ「トンサ・ゾン」が窓越しに見える。

久しぶりにお風呂に入る(ドチュラではバスルームが広くシャワーだけでも寒くなる)。朝から「トンサ・ゾン」とトンサの街へ トンサ・ゾンはブータンの東西の分岐点にある重要なところに建っている。トンサのペンロブ(行政官)は2004年10月に当時の皇太子(現国王)が就任している。

トラブル発生

5月1日15時半頃受信中、突然無線機(TS480HX)の電源が落ちた。雷が鳴っていたので停電かなと思ったが照明やPCは動いている。電源を開けて中を見るとヒューズが真っ黒に溶断している。予備のヒューズに取り換えた電源を入れると瞬断する。

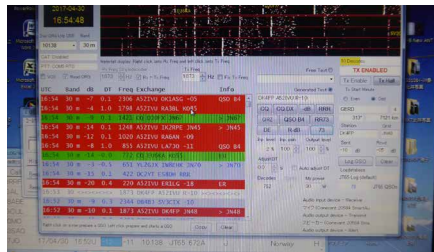
さて、困った。そうだティンブーの青木さんの会社にJH7EQW 湯浅先生のリグ一式が保管されているのを思い

出し、ウゲンさんに会社に電話してもらおうと倉庫で保管されており、電源(アルインコのDM330MV)があることもわかったのですぐに車で峠を下り、会社へ電源を受け取り再びドチュラへ 往復2時間かかったがこれで運用を続けられる。デジタルモードはRTTYでも100Wまでなので十分である。

いよいよ帰国

5月6日朝、HEX-6を朝5時からたたんだ。7時、玄関前で記念写真を撮り、パロの空港へ、手荷物検査を済ませ、チェックインへ、手荷物の重さが2人合わせて、無事通過した。

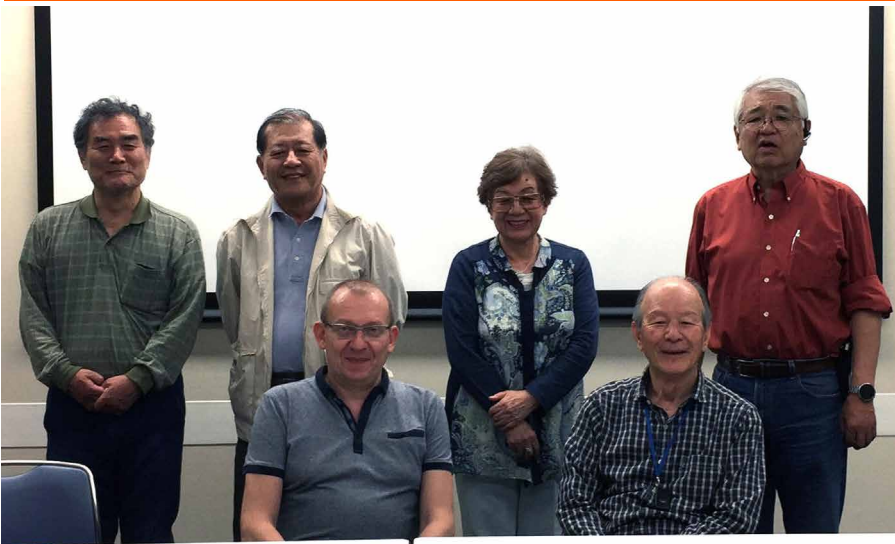
予定の時間とおりパロ国際空港を離陸、山の谷間を縫うように上昇していき、やっと山の頂上を通過して、一路、バンコックへ、トラジットエリアでタイ国際航空のカウンターでチェックイン後、23時30分の閑空行きまでターミナルでまたなければならぬ。



総QSO数	A52AEF	A52IVU
CW	41	-
SSB	1,114	-
Digital	-	743
合計	1,155	743

Monthly meeting
at International House Osaka
the 2nd Friday of each month (June 9)

5月の月例会にF6GCPが飛び込み参加



写真提供: JE3BEQ 宮本さん ご本人も参加されていましたが、写真を撮影されていたため写真には映っていません。

ハムのイベント

関西アマチュア無線フェスティバル (KANHAM2017)
7月15日~16日@池田市民文化会館

HAM RADIO
July 4 to 16 in Friedrichshafen, Germany

東海ハムの祭典
7月23日@日進市民会館

昔を語ろう 807の会
8月6日@心齋橋の大成閣

ハムフェア2017
9月2日~3日@東京ビッグサイト

北海道ハムフェア
9月23日~24日@札幌総合卸センター

Rollcall
Every Saturday 00:00UTC @21.370MHz